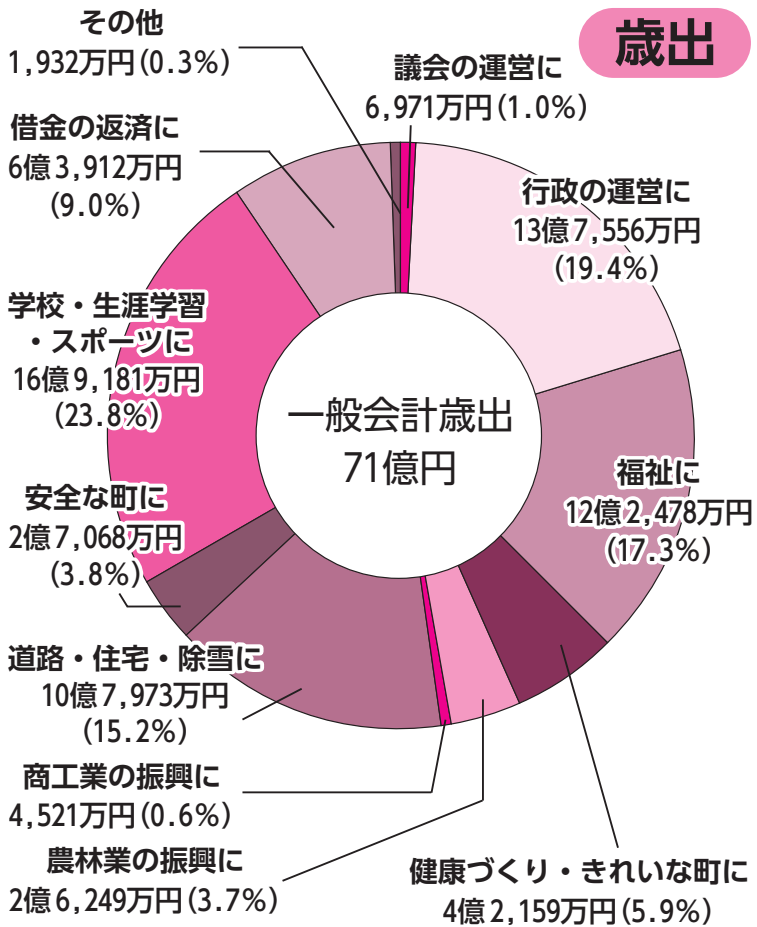


歳出における前年との比較

区 分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
議会の運営に	▲487万円(▲6.5%) 7,458万円
行政の運営に	12,694万円(10.2%) 12億4,862万円
福祉に	8,192万円(7.2%) 11億4,286万円
健康づくり・ きれいな町に	1,383万円(3.4%) 4億776万円
農林業の 振興に	1,872万円(7.7%) 2億4,377万円
商工業の 振興に	▲467万円(▲9.4%) 4,988万円
道路・住宅・ 除雪に	59,367万円(122.1%) 4億8,606万円
安全な町に	▲3,789万円(▲12.3%) 3億857万円
学校・生涯学習・ スポーツに	11億2,926万円(200.7%) 5億6,255万円
借金の返済に	189万円(0.3%) 6億3,723万円
その他	120万円(6.6%) 1,812万円



次世代に虹をかける
「子どもたちの笑顔あふれる未来づくり」へ

一般会計当初予算 (前年度比 +19億2,000万円、+37.1%)

71億円

特別会計当初予算 (前年度比 ▲9,200万円、▲4.9%)

17億7,120万円

公営企業会計当初予算 (前年度比 ▲1,394万円、▲9.3%) ※歳出ベース

1億3,675万円

今年度の予算編成においては、地域・町民・行政が力を合わせ『子どもたちの笑顔あふれる未来づくり』を実現するため、行財政改革に取り組むとともに、ふるさと納税事業の推進や新しい技術を用いた取り組みにもチャレンジし、財源確保に努め、事業の取捨選択、経常的経費の節減を図りながら、社会保障の充実や総合的な雪対策の強化、行政のデジタル化や町独自の地方創生事業の推進など、行政サービスの更なる充実のために、諸改革を遂行していくこととしています。

各会計の当初予算

区 分	予算額	増減率
一 般 会 計	71 億円	37.1%
特別会計		
国民健康保険	7 億 4,500 万円	▲4.0%
介護保険	9 億円	▲6.9%
後期高齢者医療	1 億 2,620 万円	4.8%
公営企業会計		
簡易水道事業	1,500 万円	20.0%
農業集落排水事業	1 億 2,175 万円	▲11.9%
計	90 億 795 万円	25.2%

※公営企業会計は歳出ベース

性質別にみる一般会計の歳出

人件費：職員の給与など	10 億 8,881 万円 (前年比 3.6%)
扶助費：障がい者支援や医療費助成など	5 億 6,585 万円 (前年比 6.4%)
公債費：過去の借入金の返済にかかる費用	6 億 3,912 万円 (前年比 0.3%)
行政運営費：事業実施の事務経費や施設管理費用など	22 億 6,504 万円 (前年比 8.4%)
施設等整備費：施設や道路などの整備にかかる費用	20 億 6,295 万円 (前年比 399.5%)
繰出金：一般会計から特別会計等に支出する費用	4 億 7,823 万円 (前年比 4.7%)

用語解説

一般会計：福祉・医療、教育、道路整備などの基礎的な行政サービスを行っていくための会計です。行政の主な事業はこの予算によってまかなわれています。

特別会計：特定の事業を特定の収入でまかなう会計のことで、収支を明確にするために、一般会計から独立したものとなっています。大石田町では3つの特別会計があります。

公営企業会計：事業収入を主な財源として、独立採算の原則により特定の事業を経理する会計です。簡易水道事業会計と農業集落排水事業会計はこれに該当します。

地方交付税：全国どの自治体でも一定の行政サービスが提供できるように、国が財政状況に応じて配分するお金。

国・県支出金：国や県が使い道を決めて支出する補助金、交付金や負担金などのこと。

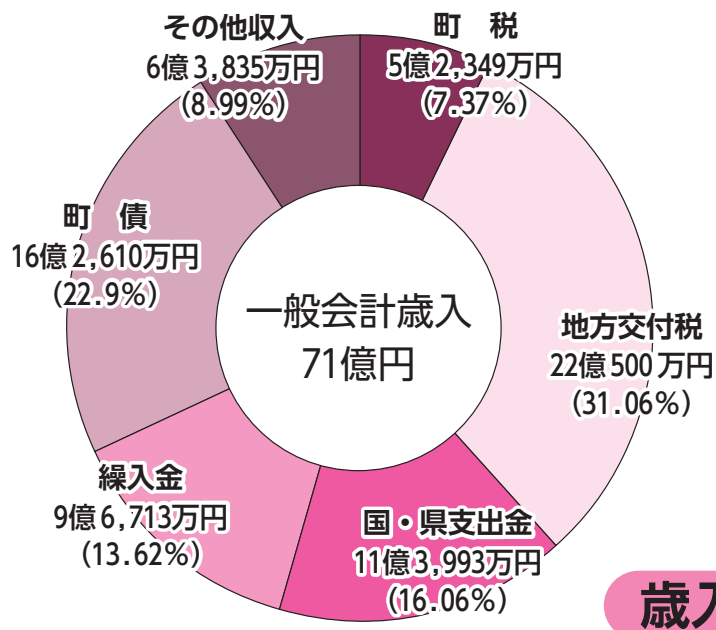
繰入金：積み立てていた基金などから予算に繰り入れるお金。

町債：町が銀行などから借りるお金。

その他収入：町の土地などを利用したときの使用料のほか、諸収入や寄付金など。

公債費：過去に町が借りたお金(町債)を返すための費用。一般会計歳出の円グラフ「借金の返済に」の項目。

一般会計予算額



歳入における前年との比較

区 分	上段：増減額(増減率) 下段：前年度予算額
町 税	1,510万円(3.0%) 5億839万円
地 方 交付税	0円(0.0%) 22億500万円
国・県 支出金	3億8,715万円(51.4%) 7億5,278万円
繰入金	1億8,906万円(24.3%) 7億7,807万円
町 債	12億9,930万円(397.6%) 3億2,680万円
その他 収 入	2,939万円(4.8%) 6億896万円